



サイズといったところ。2つのナメを越えるとすぐ二俣。

右俣を登り、左俣を下ることにする。入ってまもなく滝が出てくる。沢幅もせまく、水量もたいしたことないので、スケールの大きいものはないが、直登できるので楽しい沢である。ナメをすぎるとF7.5mが出てくる。白糸の滝といったところで、登れないことはないが、シャワーがいやなので捲く。この上にも滝が続く。下流のそれより大きな滝である。F9, 10, 11と3段に落ちている。この沢の核心部といった所である。この上にも滝が続く。水量も少なくなるとヤブがかぶってきて、急になってくる。やがて水がかれ、なおもやぶをこぐと、栗子山頂下の広い尾根に出る。木はしげっているが、木に登ると吾妻連峰がくっきりと見える。

尾根を越し、左俣を下るが、満足な滝もなく、二俣に出してしまう。右俣に滝やナメが多いのに比べ、左俣がつまらないのはものたりなかった。尾根1本のちがいで、こんなにちがってくるとは・・・ (記)

出合(7:15)——右俣終了・尾根(9:40)——二俣(11:15)——滑谷沢出合(11:25)

ナメキバシ
滑谷沢左俣二ノ沢(仮称)

1981年8月30日
L

幕営地から45分程旧国道を歩くと入谷予定の二ノ沢(仮称)出合。橋の下流側より沢に降り身仕度する。遡行をはじめるとすぐ材木岩のような感じのナメが30m程続く。そして二俣。ここで三ノ沢(仮称)に入る浅野・山田パーティと別れる。小滝とナメが次々と現われてくる。旧国道の橋へ出る。橋の下をくぐりぬけると沢は左へ曲がってゆく。少し行くとF

1 5m。右側に菓子不動明王とほられた石碑がある。直瀑。滝の右側を
 プッシュ伝いに直登。すぐ上の2mもなんなくパス。右岸に石垣がつ
 ている。道路があるためだろう。F2 2.5m, F3 3mと続いて現わ
 れ、また旧国道へ出る。今度は橋ではなく、トンネル状。ここを通りぬ
 けるとすぐ二俣。

右俣へ入るつもりだったが、左俣の方が水量も多いのでそっちに
 入り、右俣の方は下降路とすることにする。滝の連続となる。F4
 3.5mは右側をパス。前方に7m程の滝が見えたと思ったら、何と
 35m程もあるこの沢最大の滝である。ここは左岸を直登。この滝
 のすぐ上にもF6 10m, F7 5mと続く。この上はナメ滝が連続
 支沢を分けた所のF10を越える。水が少なくなってきた。やぶこ
 ぎに入る。10分程でちょうど1111.4mの三角点へ出た。

尾根ぞいにふみあとをたどり、右俣の下降開始。しばらくはな
 にもなし。トンネルのすぐ上にあった6mの滝以外特記すること
 もなかった。トンネルに出た所で下降終了とする。

(記°)

週行開始(6:45)——二俣(8:05)——1111.4m三角点
 (9:25, 9:50)——下降点(10:00)——菓子隧道(10:50)

~~菓子沢~~ 下平沢
 滑谷沢左俣三ノ沢(仮称)

1981年8月30日

L

朝霧にぬれながら旧国道を歩く。しっかりした道である。モル
 ゲンロートに向いの山は輝いている。時刻は6時を少しまわって
 いる。地下足袋のため、スタスタとスピーディに歩ける。

6:45入谷。水は冷たくない。水量はそう多くないので、あまり
 滝は望めそうもないみたいだ。

稜線が真近のためか、支流が多い。そして、古い山地のため、岩
 が露出し、ナメもまた多い。ナメはフリクションがよく効き、快
 滴に登れる。岩魚がいそうであるが、2人ともそれに興味は
 ない。

1時間も歩いて、やっと滝に会った。「お前を待っていた

